

～四国アイランドリーグ 高知ファイティングドッグス球団プレゼンツ～
和泉塗装杯 U12ベースボールクラシック2024 Kochi 実施要項

- 1・主 催 高知県軟式野球連盟・高知ファイティングドッグス球団
- 2・主 管 U12ベースボールクラシックKochi実行委員会
- 3・特別協賛 和泉塗装 (株)フィールドフォース (株)ヒロマツスポーツ 内外ゴム (株)
- 4・協 賛 三陽荘 ほっかほっか亭 コピーマック (株)和泉塗装 アリスペットクリニック 鏡川高知自動車学校 宝永バッティングセンター
いい心身研究所
- 5・趣 旨 軟式野球普及・振興を目的とする。
軟式野球を通じて少年スポーツクラブの振興を図るとともに、青少年の健全育成に寄与することを目的とする。
また子どもたちの出会い、交流の場となる大会。
参加選手全員が試合に出場出来る大会を目指す。
今こそ変わろう！変えよう少年野球
「プレーヤーズファースト」「子ども達の自立」
「指導者資質向上・罵声・怒声禁止」「審判員育成」
「応援マナーの向上」
- 6・会 期 令和6年12月14日(土)日本トータ野球場(高知市総合運動場高知球場)他
令和6年12月15日(月)日本トータ野球場(高知市総合運動場高知球場)他
決勝トーナメント 日本トータ野球場(高知市総合運動場 野球場)・INOUE・東部スポーツパーク野球場(高知市東部総合運動場 野球場)
- 7・会 場 交流戦 日本トータサブグラウンド(高知市総合運動場 補助グラウンド)・INOUE・東部スポーツパーク多目的G(高知市東部総合運動場多目的グラウンド)・土佐公園(土佐市)他
日本トータ野球場・野球場・日本トータサブグラウンド(高知市総合運動場・高知県高知市大原町158 TEL088-833-2626)
INOUE・東部スポーツパーク野球場・多目的G(高知市東部総合運動場・高知県高知市五台山1736-1)
土佐公園(土佐市) 土佐市高岡町乙941 大型バスは北側から進入可能
- 8・出場チーム 24チーム(四国・岡山・岐阜)
参加チーム多数により、大会を二つに分け運営します。
- 9・出場資格 小学6年生を中心に編成したチーム(10名以上)※6年生以下も出場可
大会の趣旨に賛同頂けるチームとする
全日本軟式野球連盟加盟支部の推薦チームもしくは主催者招待チーム
※大会参加全選手が、公益財団法人スポーツ安全協会等の保険に加入すること。
- 10・競技規則 2024年公認野球規則及び(財)全日本軟式野球連盟競技者必携の学童野球に関する事項、並びに本大会特別規則による。
- 11・使用球 (財)全日本軟式野球連盟 公認 J号(内外ゴム)を使用する。
- 12・参加申込 出場資格を得たチームは、所定の申込書に必要事項を記入し、11月18日(月)までにメールにて提出※先着順となり定員になり次第締め切りとなります
アドレス mivata@fighting-dogs.jp
※出場選手名簿は当日持参すること。
※参加申込書等は高知県軟式野球連盟学童部ホームページよりダウンロードも出来ます。
<http://89kochi.com/classic.html>
- 13・参加料 13,000円(当日会場にて納入)
※チーム代表者は会場到着後直ちに本部で受付を行う(必ず試合開始1時間前まで)
- 14・組合せ抽選 11月27日※実行委員会にて代理抽選を行う。
決勝リーグ・リバイバルマッチの組み合わせについては、予選リーグ終了後決定する。
- 15・表彰 優勝チーム・優勝トロフィー・賞状・メダル
準優勝チーム・準優勝盾・賞状・メダル
各種個人賞
- 16・引率責任者 参加チームは必ず引率責任者(成人20歳以上で監督が兼ねてもよい)をつけ、出発から帰着まで責任を持って行動すること。
- 17・出場経費 旅費、宿泊費等は参加チームの負担とする。
- 18・開会式 開会式は行いません。各会場8時30分から、開始式を行います。
グループA,Gは日本トータ野球場、グループB,D,EはINOUE・東部スポーツパーク野球場、グループC,Fは土佐公園A面にて開始式を行います。
- 19・試合方法 初日グループリーグ戦を行い各グループ順位を決定
翌日グループ1位チーム及び4チーム編成されたグループの2位チームから1チームを選びて決勝リーグをおこないます。
各チーム2試合(勝利数、勝ち点、総失点、総得点の順で決定。それでも同点となる場合は抽選とする。)
その他のチームはリバイバルマッチとして順位戦を行う。
予選リーグは6回戦1時間20分とする。3回15点5回7点のールドゲーム制を採用する。
時間内で同点の場合はタイブレークを1イニング行う。さらに同点の場合は抽選を行う。
決勝トーナメントは6回戦とし1時間30分で新しいイニングに入らない。3回15点5回7点のールドゲーム制を採用する。
決勝トーナメントは、同点の場合タイブレークを1イニングを行い、勝敗を決定する。同点の場合は抽選を行う。
決勝トーナメントの3位決定戦およびリバイバルマッチは試合時間を1時間10分を超えて新しいイニングに入らない。
※その他は出場チームが確定後に決定する
リーグ戦は試合成立を最優先とする。
※試合方法に関しては参加チーム数や天候によって変更されます
- 20・大会特別規則 (1)3回15点5回7点のールドゲーム制を採用。
(2)リエントリー、打者10人制(特別指名打者)を採用する。
一人でも多くの選手に打撃機会を充てることを目的とし、打者10人制を採用する。(指名打者を1名おくことができる。)
キャッチャーに限りテンポラリーランナーを採用する。(2アウトで捕手がランナーにいる場合、ランナーコーチ(選手)負傷している場合は、直前の打者が臨時代走として出場できる。試合の進行をスムーズにするための制度であることから、捕手は速やかに、次の守りの準備を行うこと。)

打者10人制及びテンポラリーランナーの制度は、選手を一人でも多く試合に出場させることを目的としていることから、必ず実施すること。けが等で実施できない場合は、必ず申し出ること。

(3)監督専用椅子のベンチへの持ち込み禁止。スコアラーの専用椅子は認める。

(4)指導者、応援の保護者の審判に対する発言や行動、選手に対するバウハラ発言などを禁止する(罵声・怒声)本部または審判員が罵声、怒声と判断した場合はレッドカードまたはイエローカードを出します。

レッドカード1回またはイエローカード2回で退場処分となり翌日のベンチ入りも出来ません。(スタンド応援団も含む)

(5)理由なく無断で試合中にベンチを離れた監督、コーチはベンチには戻れない。

(6)大会中、受動喫煙防止に努めグラウンド近辺での喫煙を厳禁とする。

なお喫煙区域であっても未成年者の前では禁煙とする(保護者も含む) ※イエローカード対象

21・投手の
投球制限

①学童大会においては、投手が同一日に投球できる投球数を70球以内に制限する。

②投球中に70球に達した場合は、当該打者の打席完了まで投球できる。

③投球数は、運営チーム及び当該チームでカウントし、相違があれば運営チームの数を優先する。

22・審判に
ついて

高知県軟式野球連盟学童部公認審判員が球審等を行う予定ですが、審判が確保できない場合、参加チームにご協力を求める場合がありますので、予めご了承ください。

ただし今大会は将来の審判員育成を目的としており選手・学生等が審判員として参加する。

アウト・セーフの抗議は認めないが公認審判員の判断で判定が変わるケースもある。

(予選リーグは主催者から審判1もしくは2名と試合をしていないチームから各1名。決勝トーナメントは主催者で審判を行う。交流戦は主催者から1名、試合をしていないチームで塁審を予定しています。)

23・宿泊斡旋

斡旋予定ですが、参加チームで直接お取りいただいても問題ありません。

24・懇親会
について

今年度は実施しない。

25・その他

1 参加チームは基本ユニホームに背番号(0~99番、監督30番、コーチ28・29)をつけること。

統一されたユニホームが望ましいが前わない場合は事務局まで申出て下さい。

ストッキング、アンダーシャツ、ベルトなどは統一する必要はありません。

2 プロテクター、レガース、ヘルメット、カップを着用すること。※カップは男子のみ

3 金属スパイクの使用を禁止する。

4 ベンチは若い番号を1塁側とする。

5 コーチがベンチを出てブルペン捕手やランナーコーチ等をするを許可する。

本大会に関するお問い合わせ及び連絡先

高知県軟式野球連盟学童部事務局 担当中北敦

携帯電話：090-1322-8651

高知ファイティングドッグス 担当 宮田 尾崎

携帯電話(宮田)080-4461-1496

携帯電話(尾崎)080-4032-3518



基本お問い合わせはLINEでお願いします

※大会当日の担当者は学童部中北となります(090-1322-8651)

和泉塗装杯 U12ベースボールクラシック2024 Kochi 大会特別ルール

1. リエントリー制について

- (1)今大会は、一人でも多くの選手が試合へ参加するために、リエントリー制を採用する。
 - (2)リエントリーとは、先発メンバーが一度退いても、再び試合に出場できるものである。
ただし、先発メンバーが一度退き、代わりの選手に再度、代走、代走、また守備の交代等で先発メンバー以外の選手が出場した際には、リエントリーの権利を消失する。
- (例) ○先発メンバー→代打→リエントリー先発メンバー ×先発メンバー→代打→選手交代→リエントリー先発メンバー

2. 特別指名打者制について

- (1)今大会は、一人でも多くの選手に打席へ立つ機会を与えるために、打者10人制、特別指名打者（EDH）制を採用する。
 - (2)特別指名打者（EDH）制とは、守備を行う9人に加えて1人の攻撃だけ参加するメンバーを加え、合わせて10人で攻撃を行う制度である。また、EDHの選手は特別指名打者というポジションとして扱うものとする。
 - (3)EDHの打順は1番より10番までの間、自由に選ぶことができる攻撃のみの選手。
 - (4)EDHの選手は特別指名打者というポジションであり、EDHの選手も途中から守備につくことができる。その時、打順は変わらず攻撃にも参加できる。
- 例 EDHの選手が守備につき、守備の選手がEDHになることも可能。通常の選手交代と同様に打順は変わらない。
- (5)EDHの選手に代打、代走を送ることができる
 - (6)原則EDH制及び打者10人制を行うが、けが等で10人の選手が打席に立つことが困難な場合は、打者9人制で試合を行う。また、試合途上にけが等で打者10人制が困難な場合は、9人制で試合を継続する。

3. テンポラリーランナー制について

- (1)今大会は、試合時間短縮を目的として、テンポラリーランナー制を採用し、2アウトで捕手が塁上にいる場合は、必ず実施すること。
- (2)テンポラリーランナーとは、2アウトで捕手が塁上の走者となった際に、その代わりに臨時に代走を送る制度です。
- (3)テンポラリーランナーの目的は、イニング間の捕手がプロテクター等をつける時間を短縮し、試合のスピードアップを図ることを目的としています。
- (4)テンポラリーランナーは、塁上の走者以外の選手で、走者に近いランナーコーチもしくは、打順が最後に回ってくる者を指します。